

令和8年1月13日に提出した監査の
結果に基づき講じた措置の状況について

令和8年4月

宮崎県監査委員

財政援助団体等を対象とした監査

財政援助団体等（補助団体、出資団体、公の施設指定管理者）30団体について、令和7年10月15日から令和7年12月19日までの間に、監査を実施した。
その結果、2団体の3件について、該当団体及び県の所管課等に対し、改善の措置を講じるよう文書で通知を行った。
該当機関（県の所管課等）からの講じた措置の報告については、次のとおりである。

区分	1月13日監査結果	講じた措置報告
指摘事項	2	2
注意事項	1	1
意見		
計	3	3

【補助団体】

監査対象機関 (県の所管課)	監査の結果	講じた措置
学校法人 櫻美学園 (みやざき文化振興課)	【指摘事項】 宮崎県私立小学校、私立中学校及び私立高等学校教育改革推進特別経費補助金について、補助対象外の経費が計上されていた。	速やかに実績報告書を再提出させるとともに、過払いとなっている補助金について返還の手続きを行った。 また、交付申請の際には、補助対象経費について、厳密に確認するとともに、複数職員によるチェック体制の強化について指導を行った。

【出資団体】

監査対象機関 (県の所管課)	監査の結果	講じた措置
公益財団法人 宮崎県立芸術劇場 (みやざき文化振興課)	【指摘事項】 県立芸術劇場1階和室改修工事等について、工事請負契約書に基づく契約保証の付されていないものが見受けられた。	工事請負契約書に基づき必要な契約保証を付することについて、関係規程の再確認や複数の職員による重複チェック体制の徹底を図り、適正な事務処理を行うよう指導を行った。
	【注意事項】 ノートパソコンのファイナンス・リース取引について、適用する会計基準に沿った事務処理が行われていないものがあった。	リース料の総額が300万円を超えるリース取引について、賃貸借処理ではなく売買処理を行うよう指導を行った。 なお、同財団では令和7年度の会計処理から改めることとした。